



# 2023年12月期 決算説明会資料

2024年2月16日(金)



We Craft Your Imagination.

## Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

We craft your imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。  
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、  
それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

## Mission

ビジョン実現に向けて、日本創発グループがなすべきこと

チームワーク

プロの真心と技

言い訳のない品質

お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、  
ベスト・パートナーとなることをめざします。そのため  
にも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、  
それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォ  
ローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳の  
ない高い品質を実現します。

## Value

ビジョンとミッションの下、

日本創発グループがお客さまや社会に提供する価値

プラスαの追求

我が事として

私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待をこえる  
成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっと  
その笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、  
お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、  
お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、  
そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力

新しいカタチ

良き市民

私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と  
会社がつびつき、切磋琢磨している集団です。そこに  
息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しな  
がら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力  
と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、  
今まで見たことのないカタチでターゲットの心に  
刻みつけていきます。

私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、  
業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、  
誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

# 01 グループ会社

New 2022年 New 2023年 New 2024年

	印刷	ITメディア セールスプロモーション	プロダクツ
連結子会社	<p>New 2024年3月</p> <p>共同製本</p> <p>※2024年2月 SEIO とう合併しました。</p> <p>2022年6月</p> <p>RINGSTONE</p> <p>New 2023年6月</p> <p>Iijima</p> <p>BISHODO</p> <p>KPC 研精堂印刷株式会社</p> <p>PRESEZ</p> <p>TANAKA</p> <p>MGS</p> <p>New 2024年3月</p> <p>望月印刷株式会社</p> <p>Lithmatic</p> <p>サンエーカガク印刷</p> <p>日経印刷株式会社</p> <p>APRISE</p> <p>株式会社アブライズ</p> <p>宏和樹脂工業株式会社</p> <p>株式会社小西印刷所</p> <p>OKUMA</p> <p>新大熊整美堂</p>	<p>popal</p> <p>CAD CENTER</p> <p>Crowd Gate</p> <p>FIVESTAR INTERACTIVE</p> <p>SONICJAM</p> <p>PICO</p> <p>New 2024年3月</p> <p>アスコム</p> <p>2022年6月</p> <p>ONE PUBLISHING</p> <p>2022年12月</p> <p>J&amp;S</p> <p>大光宣伝</p> <p>2022年3月</p> <p>DIAMOND HEADS</p> <p>BARK IN STYLE</p> <p>New 2023年6月</p> <p>G!</p>	<p>colore co.,ltd.</p> <p>新日本工芸(株)</p> <p>MEDICOS ENTERTAINMENT CO.,LTD</p> <p>株式会社 エヌビー社</p> <p>SMILE FLAG</p> <p>株式会社スマイル</p> <p>funbox</p>
	<p>持分法適用子会社</p> <p>HAL</p> <p>包む心を大切に</p> <p>カタオカプロセス株式会社</p> <p>SMC</p> <p>南サンエム・コーポレーション</p>	<p>MC MARKETING DIRECTIONS</p> <p>aex inc.</p> <p>2022年12月</p> <p>rokunana</p> <p>GI</p> <p>Playce</p>	
	<p>持分法適用関連会社</p> <p>NRI</p> <p>NRIフィナンシャル・グラフィックス</p>	<p>New 2023年3月</p> <p>BACKSTREETS INC.</p> <p>ユニティグループ株式会社</p>	<p>IMAGEMAGIC</p>
	<p>持分法適用外関連会社</p> <p>PROMO</p>	<p>New 2023年12月</p> <p>MYOQUE 55</p> <p>Che Gie productions</p> <p>Visolab</p> <p>アド・クレール</p> <p>ALPHA CODE</p> <p>Musignal</p> <p>Five for</p>	<p>立体造形工房</p> <p>LAUNSELOT</p> <p>Graphic Design Inc</p> <p>SO-KEN</p>

# 02 新規グループ参画会社①

## 連結子会社

### 飯島製本株式会社

愛知県名古屋市

2021年6月持分法化（議決権比率38.0%）

**2023年6月より連結子会社（議決権比率70.0%）**

**2023年9月から100%**

#### 印刷物加工・製本・発送・管理等関連サービス

1921年に創業、100年以上の実績を持つ総合製本会社。

中京圏の3工場、関東圏、関西圏にも各1工場を有し、

継続的な設備投資により業界トップレベルの生産能力を保持しております。



### 大光宣伝株式会社

奈良県生駒市

**2022年12月より連結子会社（議決権比率100%）**

#### 交通広告・屋外広告の企画制作

屋外広告・交通広告を中心に、企画・開発から制作・保守管理まで、独自のノウハウと実績を築いてきました。

関西地区で展開する企業、学校法人・病院クリニックなどのお客さまの広告ニーズにお応えしています。



# 02 新規グループ参画会社②

## 連結子会社：ITメディア・セールスプロモーションの強化

### 株式会社グレートインターナショナル 東京都港区

2023年6月より連結子会社（議決権比率100%）

#### クリエイティブ制作・学校教育向け教材及びICT機器の販売

テレビ番組のクリエイティブワークを祖業としたデザインプロダクション企業です。  
既成概念にとらわれず「オモシロイことをしよう！」をスローガンに、常に課題に挑み続けています。



### 株式会社バックストリート

東京都渋谷区

2023年3月より持分法化（議決権比率47.83%）

#### 映像・イベント・音楽・グラフィックのプロデュース

映像・イベント・音楽・グラフィックを中心に様々なニーズに応えるフレキシブルなプロデュースを行う、主に幼児向け映像コンテンツを企画制作するプロデュース集団です。  
教材カリキュラムからエンタメまで、平成、令和と形を変え新しいサービスを提供しています。



# 03 2023年12月期 連結会計年度の概況

(単位：百万円)

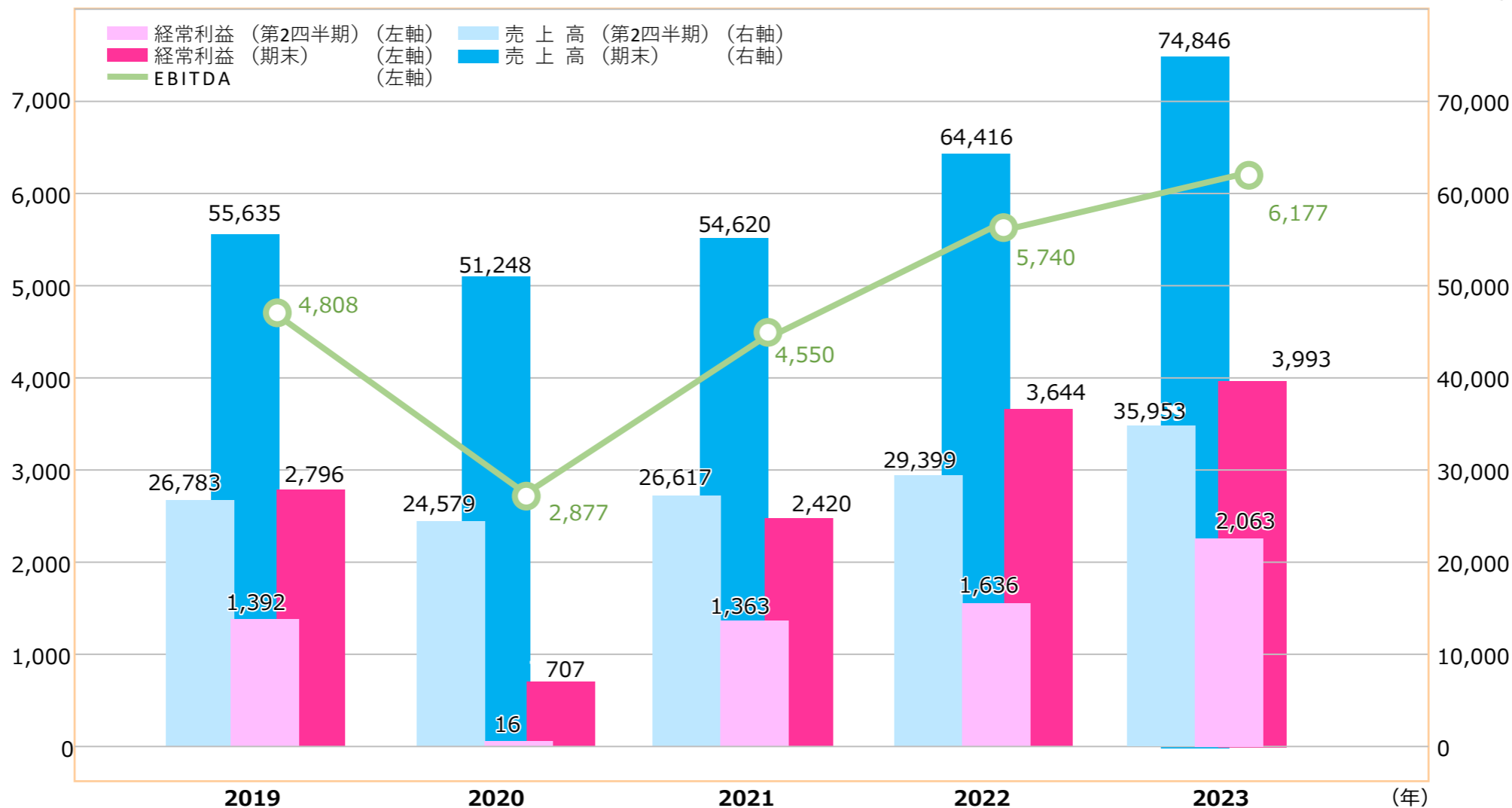
	2023年 実績 (A)	2023年12月期計画 (B)		2022年 実績 (C)	差 異 (A-C)	
	金 額	金 額	対計画比	金 額	金 額	対前期比 増減率
売 上 高	<b>74,846</b>	70,000	106.9%	<b>64,416</b>	10,429	16.2%
営業利益	<b>3,463</b>	3,300	105.0%	<b>3,248</b>	214	6.6%
営業利益率	<b>4.6%</b>	4.7%	—	<b>5.0%</b>	—	—
経常利益	<b>3,993</b>	3,700	107.9%	<b>3,644</b>	348	9.6%
経常利益率	<b>5.3%</b>	5.3%	—	<b>5.7%</b>	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>2,508</b>	2,200	114.0%	<b>2,003</b>	504	25.2%
当期純利益率	<b>3.4%</b>	3.1%	—	<b>3.1%</b>	—	—
EBITDA	<b>6,177</b>	5,800	106.5%	<b>5,740</b>	436	7.6%

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

# 03 2023年12月期 連結会計年度の概況

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

※2019年12月期以降は、不動産賃貸収入を売上高ではなく 営業外収入として計上しています

# 03 2023年12月期 連結会計年度の概況

## 売上増加の内容

2023年12月期 ----- 連結子会社 **36**社  
売上高 **74,846**百万円

2022年12月期 ----- 連結子会社 **36**社 ※  
売上高 **64,416**百万円

**+10,430**百万円 **16.2%増**

※ 連結子会社のうち 2社は期末BSのみとなります。

## 新規企業連結による影響

ダイヤモンドヘッズ	2022年4月～	1Q	※PL
パークインスタイル	2022年4月～	1Q	
ワン・パブリッシング	2022年7月～	1Q+2Q	
リングストーン	2022年7月～	1Q+2Q	
大光宣伝	2023年1月～	全Q	
JBS	2023年1月～	全Q	
飯島製本	2023年7月～	1Q+2Q	
グレートインターナショナル	2023年7月～	1Q+2Q	

⇒売上増加分 **約52億円**



**約52億円**は、  
**既存事業会社**の増加分



# 03 2023年12月期 連結会計年度の概況

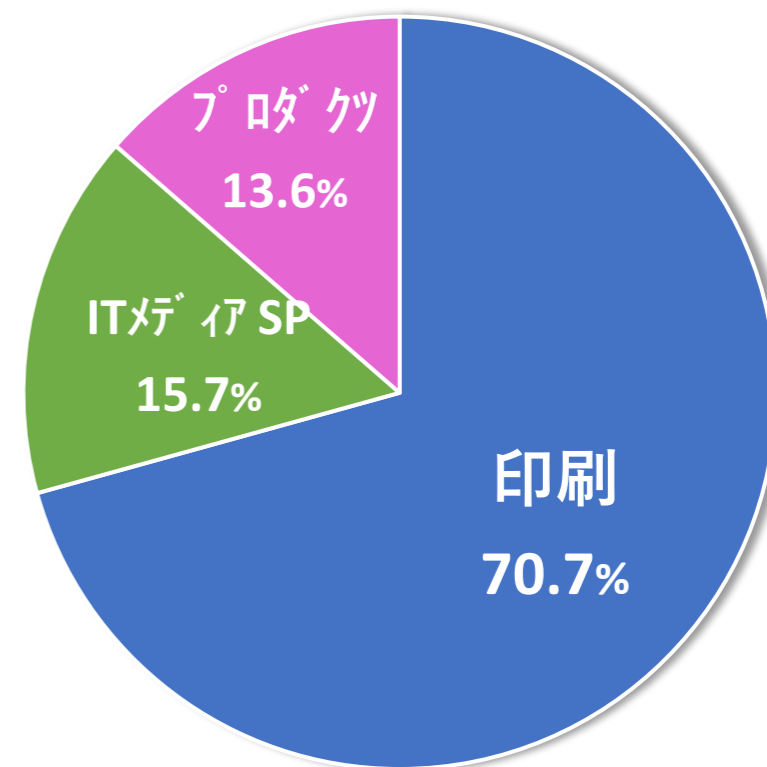
## 売上増加の内容

2023年12月期 ----- 連結子会社 **36**社  
売上高 **74,846**百万円

2022年12月期 ----- 連結子会社 **36**社 ※  
売上高 **64,416**百万円

**+10,430**百万円 **16.2%増**

## 売上構成比



※ 連結子会社のうち 2社は期末BSのみとなります。

# 03 2023年12月期 連結会計年度の概況

## 印刷関連事業

### ポイント

企業結合による影響は限定的  
・既存企業の営業利益 約24%up

事業環境好調  
・イベント・販促関連  
・テーマパーク需要の好転

「製本加工工程」の収益改善に注力



共同製本のグループ参入

# 03 2024年 新規グループ参画会社①

## 共同製本株式会社

さいたま市桜区

2024年3月より連結子会社（議決権比率76.65%）

### 印刷物加工・製本・発送・管理等関連サービス

創業以来110年余の業歴を通して培ってきた高品質の造本技術を持ち、特に厚物製本に高い技術を持つ企業です。雑誌・書籍・教科書・絵本・カタログ・カレンダーから学校教材・見本帳まで、広範は営業品目を備え、後加工・アッセンブリーサービス・輸送納品まで含めたワンストップサービスを提供して事業を展開しています。



# 03 2023年12月期 連結会計年度の概況

## IT メディア セールスポモーション

### ポイント

企業結合による 売上拡大

約48%up

出版事業の収益改善が急務

・メディア活用とサービスの拡充

出版事業の収益改善に注力



**アスコムのグループ参入**  
**ワン・パブリッシング移転**

同じビル内にて同居開始

# 03 2024年 新規グループ参画会社②

## 株式会社アスコム

東京都港区

2024年3月より連結子会社（議決権比率55.78%）

ビジネス・経済・健康・教育・生活実用ジャンルの書籍出版等

創業以来培ってきた有名企業様や著名人の方々との信頼関係に加え、高い企画力・編集力を原動力に、出版業界を取り巻く厳しい環境の中でも、20万部以上のヒット作を出せる実力を持つ出版社。



# 03 2023年12月期 連結会計年度の概況

## プロダクツ

### ポイント

既存事業会社の順調な成長

一部地域のントリーリスクが顕在化

SMILE事業の一部見直し

・シルクスクリーン印刷⇒商材を変更

売上 約18% up

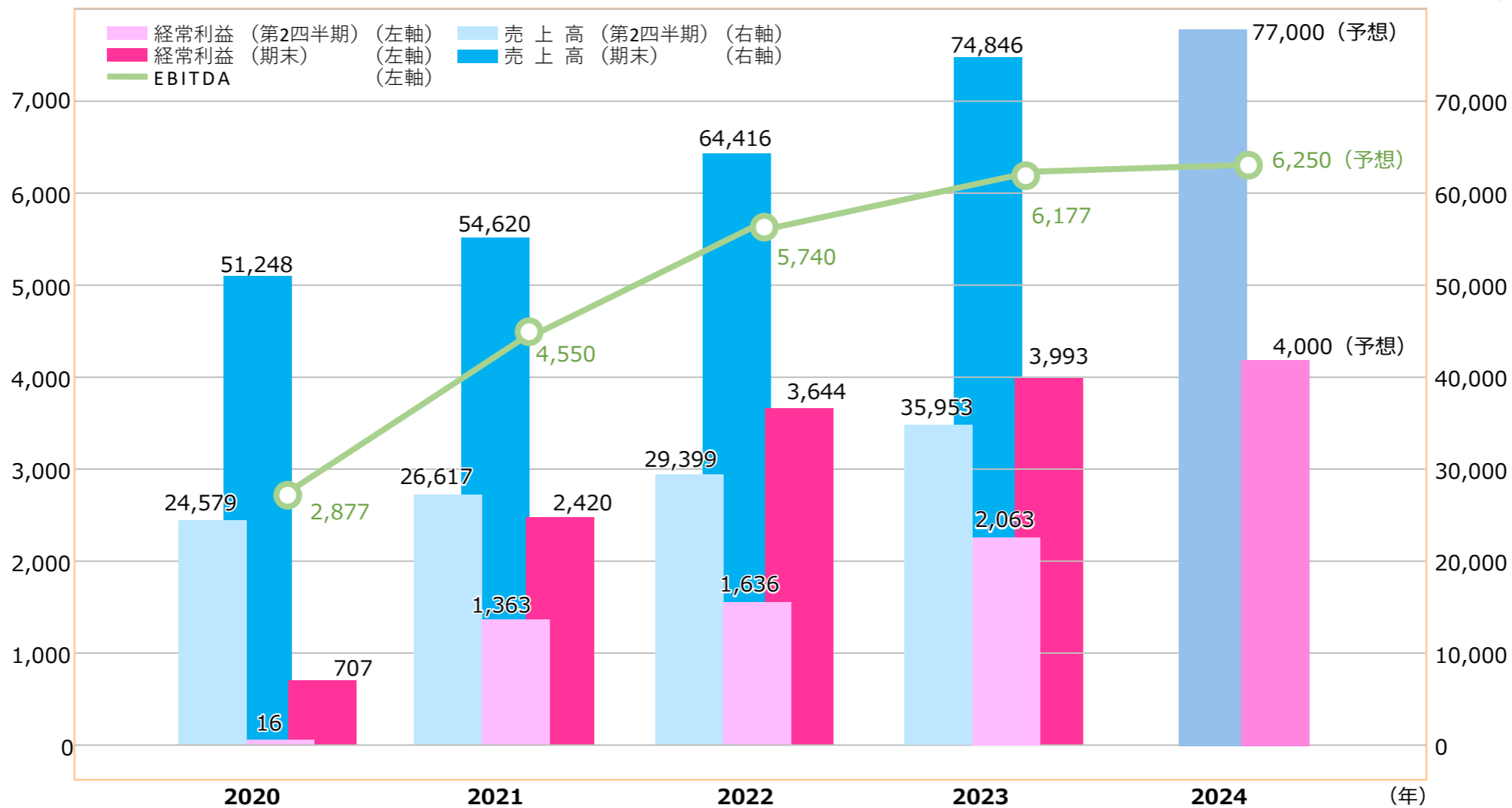


インバウンド含め  
テーマパーク需要などが回復

# 03 2024年12月期 予想 (連結)

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

# 04 2023年12月期 連結会計年度の概況

(単位：百万円)

	2023年 実績 (A)	2023年12月期計画 (B)		2022年 実績 (C)	差 異 (A-C)	
	金 額	金 額	対計画比	金 額	金 額	対前期比 増減率
売上高	<b>74,846</b>	70,000	106.9%	<b>64,416</b>	10,429	16.2%
営業利益	<b>3,463</b>	3,300	105.0%	<b>3,248</b>	214	6.6%
営業利益率	<b>4.6%</b>	4.7%	—	<b>5.0%</b>	—	—
経常利益	<b>3,993</b>	3,700	107.9%	<b>3,644</b>	348	9.6%
経常利益率	<b>5.3%</b>	5.3%	—	<b>5.7%</b>	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>2,508</b>	2,200	114.0%	<b>2,003</b>	504	25.2%
当期純利益率	<b>3.4%</b>	3.1%	—	<b>3.1%</b>	—	—
EBITDA	<b>6,177</b>	5,800	106.5%	<b>5,740</b>	436	7.6%

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用



# 04 2023年12月期連結会計年度の概況

(単位：百万円)

		2023年12月期	2022年12月期	前期比増減	増減率
<b>A</b>	売上高	74,846	64,416	10,430	16.2%
<b>B</b>	原材料費	16,484	14,327	2,156	15.1%
	商品仕入	22	▲ 55	77	－ %
	外注加工費	20,719	16,766	3,952	23.6%
	運搬費・著作権料・保管費	2,702	2,680	22	0.8%
	その他の原価	298	159	138	87.1%
<b>A - B</b>		<b>34,620</b>	<b>30,538</b>	<b>4,081</b>	<b>13.4%</b>
	人件費	20,786	18,521	2,264	12.2%
	減価償却費	1,822	1,557	265	17.1%
	のれん償却費	90	87	2	3.1%
	賃借料	1,381	1,159	221	19.1%
	租税公課	541	372	169	45.6%
	貸倒費用	42	▲ 17	60	－ %
<b>営業利益</b>		<b>3,463</b>	<b>3,248</b>	<b>214</b>	<b>6.6%</b>
	支払利息	▲ 154	▲ 161	7	－ %
	持分法損益	199	49	149	399.8%
<b>経常利益</b>		<b>3,993</b>	<b>3,644</b>	<b>348</b>	<b>9.6%</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>		<b>2,508</b>	<b>2,003</b>	<b>504</b>	<b>25.2%</b>

# 05 2023年12月期 連結貸借対照表 (資産の部)

(単位：百万円)

科目	2023年12月期		2022年12月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動資産	37,381	49.5%	29,953	44.2%	7,427	24.8%
現金及び預金	14,386	19.0%	10,400	15.3%	3,985	38.3%
受取手形	1,438	1.9%	1,574	2.3%	▲ 135	▲ 8.6%
売掛金	11,784	15.6%	11,293	16.7%	491	4.3%
電子記録債権	2,782	3.7%	2,469	3.6%	313	12.7%
その他	6,988	9.3%	4,215	6.2%	2,773	65.8%
固定資産	38,171	50.5%	37,818	55.8%	352	0.9%
有形固定資産	27,814	36.8%	25,479	37.6%	2,334	9.2%
建物及び構築物	7,979	10.6%	7,729	11.4%	249	3.2%
機械装置及び運搬具	2,750	3.6%	2,671	3.9%	79	3.0%
土地	16,577	21.9%	14,773	21.8%	1,804	12.2%
その他	506	0.7%	304	0.5%	201	66.2%
無形固定資産	940	1.2%	1,420	2.1%	▲ 479	▲ 33.8%
のれん	146	0.2%	201	0.3%	▲ 54	▲ 27.2%
その他	794	1.1%	1,218	1.8%	▲ 424	▲ 34.8%
投資その他の資産	9,416	12.5%	10,918	16.1%	▲ 1,502	▲ 13.8%
投資有価証券	5,914	7.8%	4,948	7.3%	966	19.5%
その他	3,501	4.6%	5,970	8.8%	▲ 2,468	▲ 41.4%
資産合計	75,552	100.0%	67,771	100.0%	7,780	11.5%

# 05 2023年12月期 連結貸借対照表 (負債及び純資産の部)

(単位：百万円)

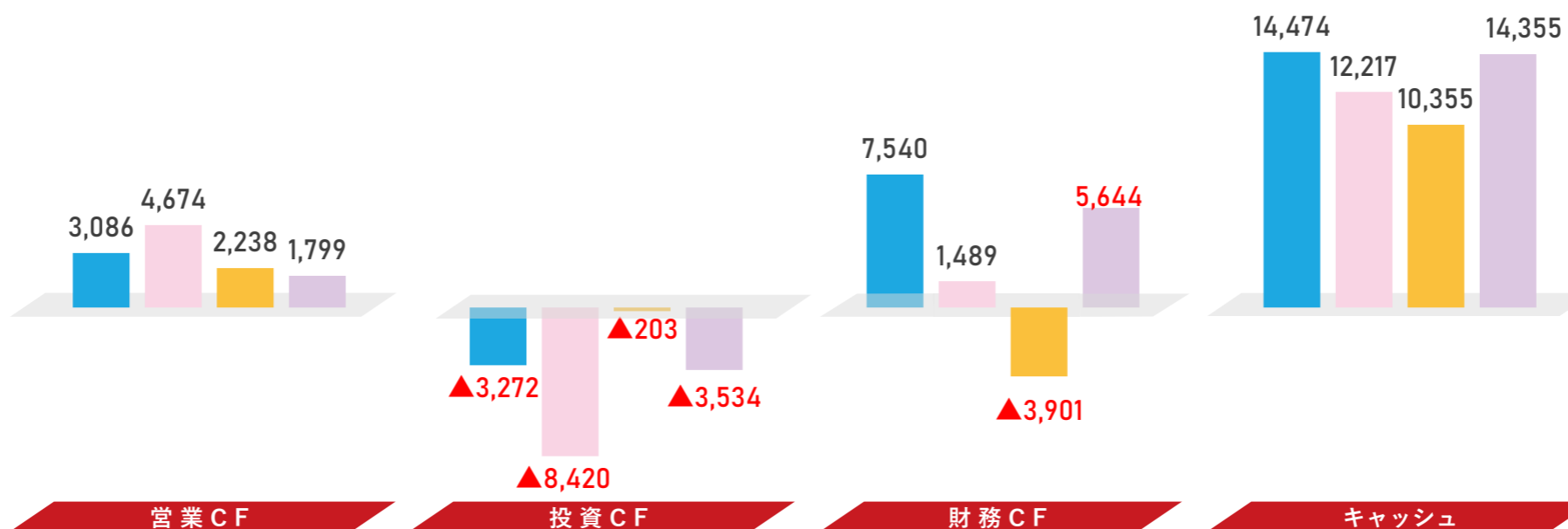
科目	2023年12月期		2022年12月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動負債	38,186	50.5%	41,360	61.0%	▲ 3,174	▲ 7.7%
買掛金	3,778	5.0%	5,032	7.4%	▲ 1,254	▲ 24.9%
短期借入金	25,000	33.1%	27,000	39.8%	▲ 2,000	▲ 7.4%
1年以内返済予定長期借入金	3,500	4.6%	2,400	3.5%	1,100	45.8%
その他	5,907	7.8%	6,927	10.2%	▲ 1,019	▲ 14.7%
固定負債	21,499	28.5%	13,675	20.2%	7,823	57.2%
長期借入金	17,975	23.8%	10,650	15.7%	7,325	68.8%
退職給付に係る負債	127	0.2%	134	0.2%	▲ 7	▲ 5.3%
その他	3,397	4.5%	2,891	4.3%	505	17.5%
負債合計	59,685	79.0%	55,035	81.2%	4,649	8.4%
株主資本	14,985	19.8%	12,153	17.9%	2,832	23.3%
資本金	400	0.5%	400	0.6%	—	— %
資本剰余金	4,692	6.2%	5,461	8.1%	▲ 769	▲ 14.1%
利益剰余金	10,121	13.4%	8,144	12.0%	1,976	24.3%
自己株式	▲ 227	▲ 0.3%	▲ 1,852	▲ 2.7%	1,625	▲ 87.7%
その他の包括利益累計額	439	0.6%	133	0.2%	305	229.4%
非支配株主持分	441	0.6%	449	0.7%	▲ 8	▲ 1.8%
純資産合計	15,866	21.0%	12,736	18.8%	3,130	24.6%
負債・純資産合計	75,552	100.0%	67,771	100.0%	7,780	11.5%

# 06 2023年12月期 連結会計年度のキャッシュ・フロー

■ 2020年12月期 ■ 2021年12月期 ■ 2022年12月期 ■ 2023年12月期

(単位：百万円)

	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,086	4,674	2,238	1,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,272	▲8,420	▲203	▲3,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,540	1,489	▲3,901	5,644
現金及び現金同等物の期末残高	14,474	12,217	10,355	14,355



# 07 2024年12月期 業績の見通し (連結)

(単位：百万円)

	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (予想)	前 期 比	
			差 額	増減率
売 上 高	74,846	<b>77,000</b>	2,153	2.9%
営業利益	3,463	<b>3,500</b>	36	1.1%
経常利益	3,993	<b>4,000</b>	6	0.2%
EBITDA	6,177	<b>6,250</b>	72	1.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,508	<b>2,600</b>	91	3.7%
EPS (円 銭)	50円94銭	<b>51円86銭</b>		
1株当たり年間 配当金 (円 銭)	12円00銭	<b>13円00銭</b>		
期中平均株式数 (千株)	49,238	<b>50,135</b>		

※EBITDA = 経常利益減価償却費のれんの償却額金融費用

# 08 2024年12月期 経営戦略について

## 日本創発グループ第10期 人的資本の活性化

### ポイント

1. 事業会社のリロケーション
2. 新卒初任給を含めた給与水準訂正の断行
3. 人的資本開示をふまえたDX投資の積極化

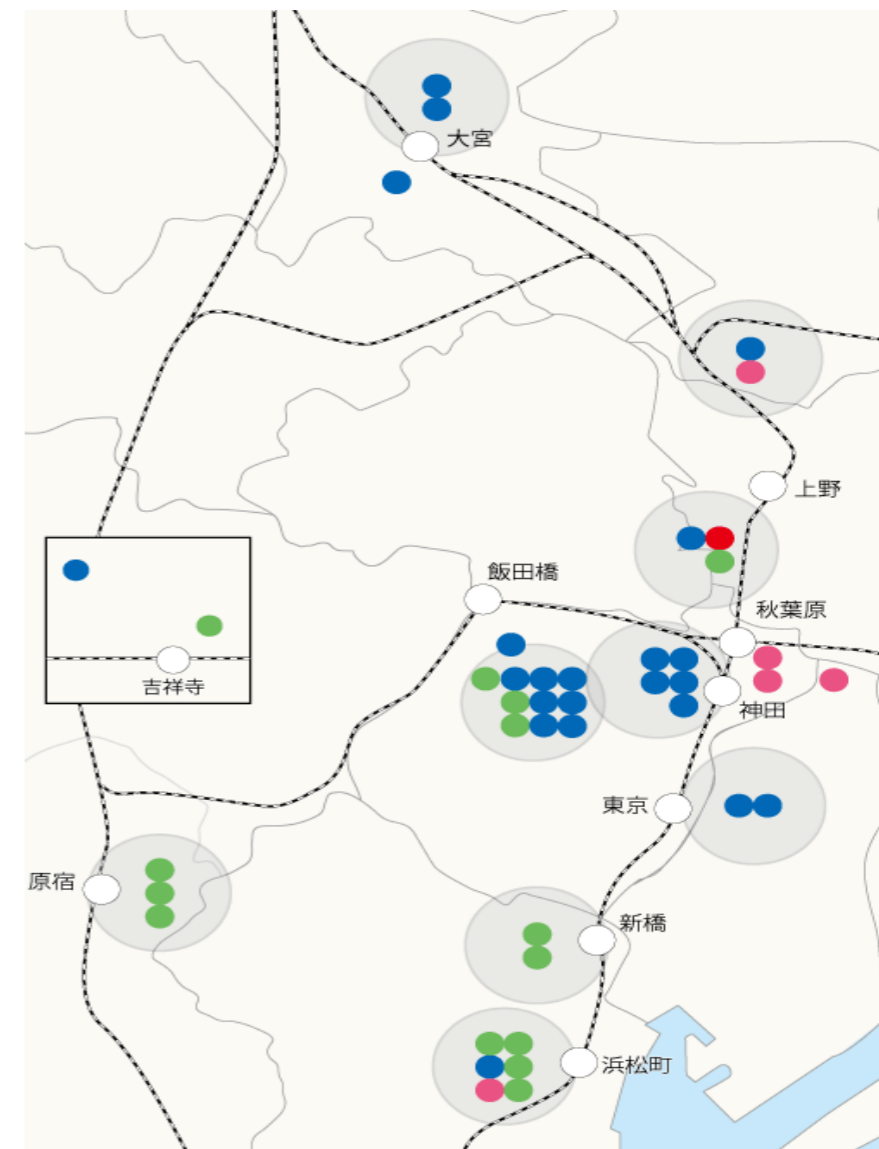
# 08 2024年12月期 経営戦略について

## 日本創発グループ第10期 人的資本の活性化

### 1. 事業会社のリロケーション

神田アネックスビルの売却 2025年12月までに引き渡し

- ・製造拠点の統合 ⇒ 生産効率向上に注力
- ・人的資本の活性化 ⇒ 付加価値向上に注力

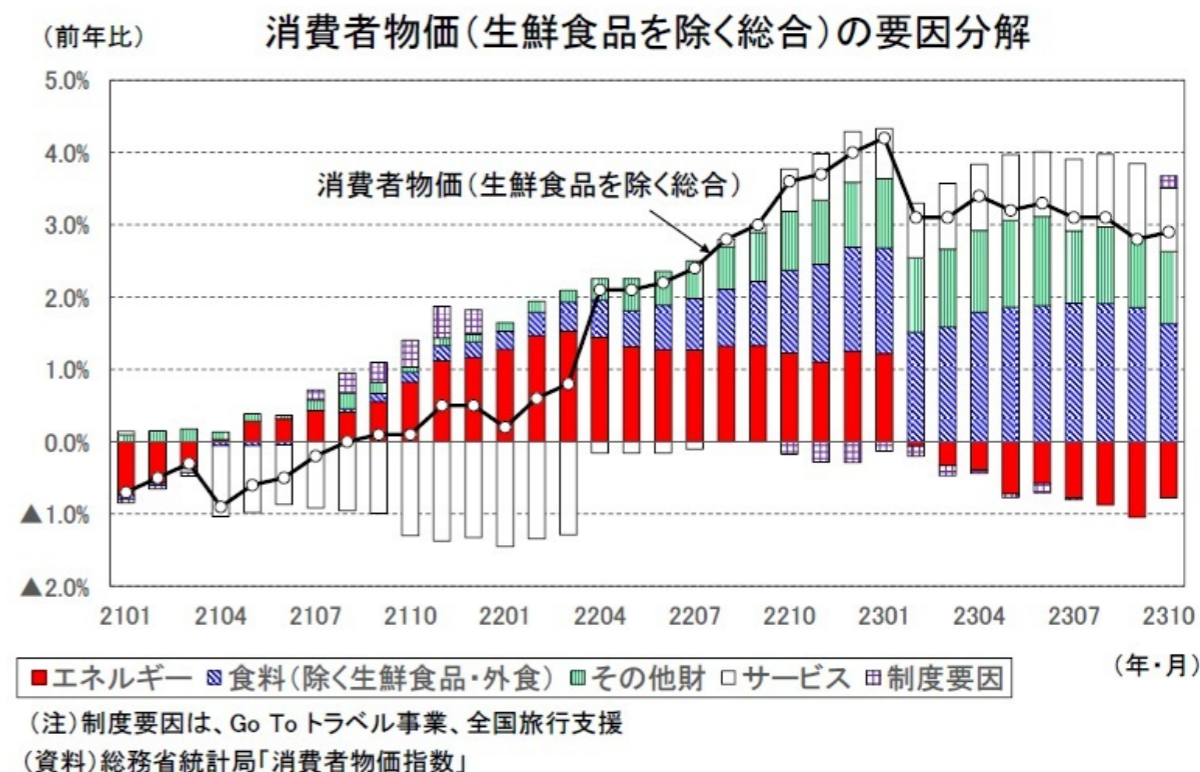


# 08 2024年12月期 経営戦略について

## 日本創発グループ第10期 人的資本の活性化

### 2. 新卒初任給を含めた給与水準訂正の断行

- ・年間 約200百万円の人件費増を想定  
期間収益にて吸収を見込む
- ・地域差を考慮して各事業会社にて検討
- ・一部事業会社の退職金制度見直し





# 08 2024年12月期 経営戦略について

## 日本創発グループ第10期 人的資本の活性化

### 3. 人的資本開示をふまえたDX投資の積極化

グループ企業間含めた人事交流

見える化を進めるためにも  
新システムに移行する

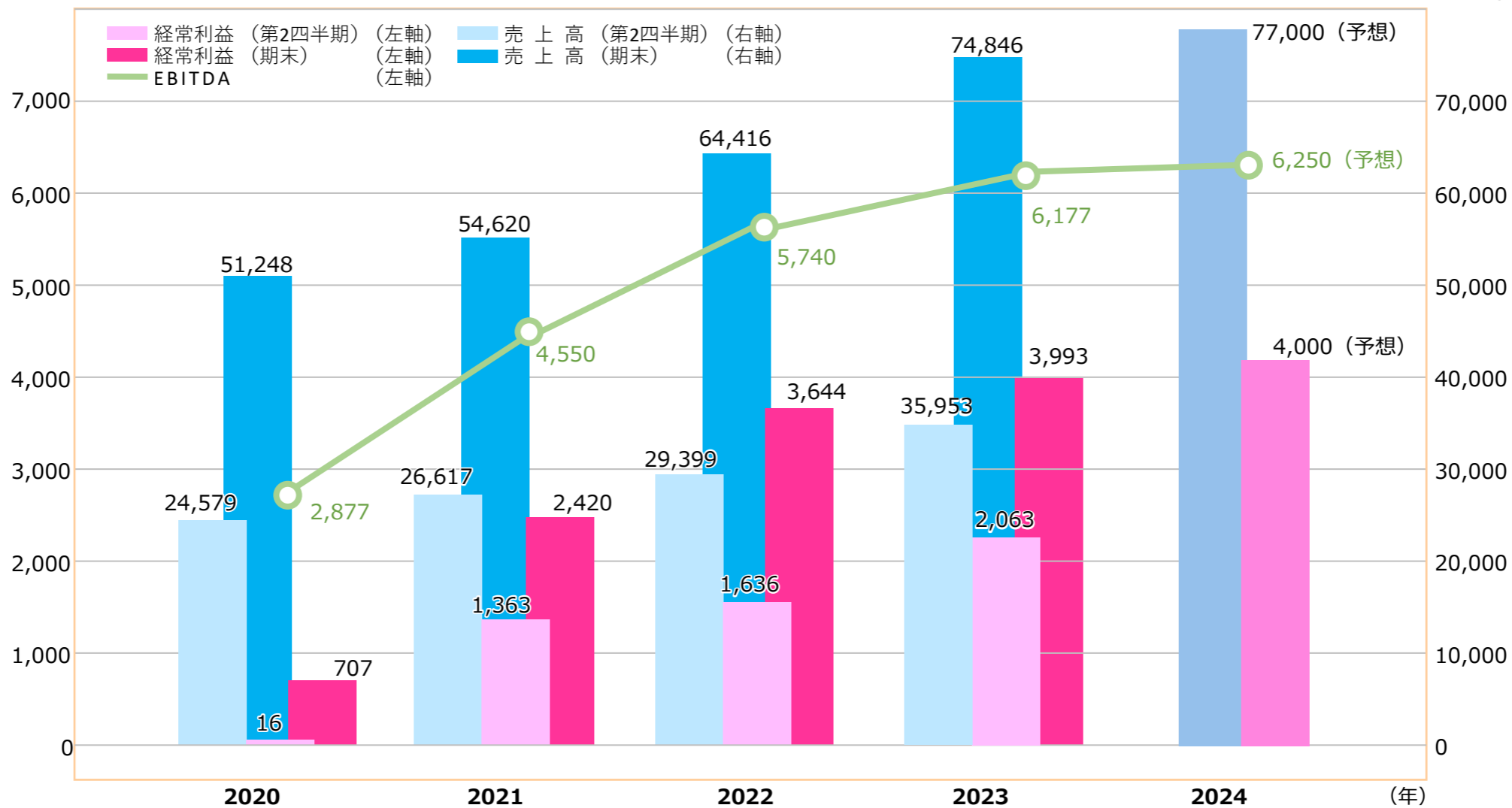
#### 創発エンゲージメント

<b>ソ</b> 育てる	<b>ウ</b> 移す	<b>ハ</b> 派遣・研修	<b>ツ</b> つながる
必要な能力 現在の能力 そのための手段 <b>能力の可視化</b>	社内部署異動 グループ間異動 M&Aによる異動 <b>成長意欲を刺激</b>	グループ間派遣 グループ間研修 グループ間委託 <b>活発な交流</b>	社内部署間 グループ間 知り合いが増える <b>知見の共有</b>

# 09 2024年12月期 予想 (連結)

(単位：百万円)

(単位：百万円)



※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

# 本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料作成時点において、

当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、

当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、

当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。



日本創発グループ  
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

U R L : <https://www.jcpg.co.jp/>

E-mail : [cp@jcpg.co.jp](mailto:cp@jcpg.co.jp)

T E L : 03-5817-3061 IR担当